

リデュース・リユース取組事例集の概要

リデュース・リユースの取組を分類した上で、日本各地のリデュース・リユースの「いま」を紹介しています。

レジ袋の削減

レジ袋辞退でもらえるシールで買い物今は「エコファミリー」運動に発展
とよたエコライフ倶楽部（愛知県）

愛知県豊田市では、平成11年から、店舗でレジ袋を断るとシールがもらえ、20枚集めると加盟店で100円として利用できる「買物袋持参共通シール制度」を開始しました。

その後も発展を続け、現在では「エコポイント制度」となり、シールまたは電子ポイントをカードに貯められるようになり、豊田市独自の仕組みになっています。



その他の活動団体：北海道容器包装の簡素化を進める連絡会（北海道）、とやまエコ・ストア連絡協議会（富山県）、大垣市（岐阜県）

リユースびんの利用促進

リユースびんと地元特産品を組み合わせた環境保全とまちおこしを推進
NPO法人World Seed（奈良県）

平成24年に奈良県特産の大和茶を使ったリユースびん入り緑茶飲料「と、わ（To WA）」を開発し、奈良市や生駒市等と連携して公共施設や飲食店、観光施設で利用・回収するリユースびんの地域循環システムを構築しました。

「ごみが出ない、環境負荷が低い」、「地産地消、街の環境保全」などをアピールし、販路の拡大を進めています。



その他の活動団体：福島県容器リユース推進協議会（福島県）

マイボトルの利用促進

マイボトル持参でヨコハマに行けば「マイボトルスポット」が利用できる
横浜市（神奈川県）

横浜市では、平成22年から、「マイボトルスポット」キャンペーンを実施しています。「マイボトルスポット」とは、客が持参したマイボトルに店舗が飲み物を入れて販売したり水を無料で提供する店舗のことです。平成27年4月には319か所に拡大しました。

参加店舗マップをホームページに掲載して利用のしやすさを図り、店舗もマイボトル持参者へのサービスの独自性を出す努力をしています。

その他の活動団体：町田市（東京都）



服のリユース促進

古着のリユース・リメイク店舗を展開収益をアジアの人々との民間交流に活用
NPO法人WE21ジャパン（神奈川県）

リユース・リサイクルの活動に加え、社会問題を学ぶ「共有（ともいっく）」、アジアなど世界各地との民間交流やフェアトレードを促す「民際協力」などの事業を行っています。

現在は神奈川県内に55のリユース・リサイクルショップ「WEショップ」を展開しています。家庭で不用品な衣類や雑貨を寄付してもらい、その販売収益を主にアジア地域の人びとの生活向上や自立のための支援などに活用しています。



その他の活動団体：NPO法人中部リサイクル運動市民の会（愛知県）、上山市（山形県）、宇部市（山口県）、名護市（沖縄県）

食品ロスの削減

「30」と「10」を意識させることで食品ロスを減らす「30・10運動」
松本市（長野県）

松本市では、会食や宴会の時に、①注文を適量にする、②乾杯後30分は料理を楽しむ、③お開き10分前にも自席で食べることを「残さず食べよう！30・10（さんまる・いちまる）運動」と名付けてPRしました。

その他にも様々な食品ロスを減らすための取組を実施し、園児を対象に「食べ物への感謝」と「もったいない」をテーマにし環境教育にも力を入れています。



その他の活動団体：熊本市（熊本県）、株式会社HOLIDAY（秋田県）、NPO法人あいあいねっと広島（広島県）、福井県

使用済製品のリユース促進

大集合！まだ使えるのに使わない宝物人気のフリマ「わくわくおたから市」
恵庭市（北海道）

恵庭市では、平成18年より、家庭内から出た不用品のリユースのためのフリーマーケットを開催しています。3年ほど前から、消費者協会主催の消費生活展と共催にすることで、集客数アップを図っています。

当初、年1回開催で40店だったフリーマーケット参加数も平成26年（年4回開催）には151店に増加しています。



その他の活動団体：森野市（神奈川県）、一般財団法人まちだエコライフ推進公社（東京都）、真庭市（岡山県）、浦安市（千葉県）、池田市（大阪府）、前橋市（群馬県）、新城市（愛知県）、神奈川県

リユース食器の利用促進

世界から60万人が集まる夏の風物詩「祇園祭」にはリユース食器が似合う
京都市（京都府）

毎年7月に開催される「祇園祭」には世界中から約60万人が集まり、20万食が消費されます。「エコ・イベント」として京都の祭りのお手本にしようという声があがり、屋台200店舗にリユース食器を導入し、回収拠点として「エコステーション」を設営しました。

延べ2,000人のボランティアを集めるために市、事業者、大学等様々な主体が募集に協力しました。

その他の活動団体：認定NPO法人スペースふう（山梨県）、生駒市（奈良県）、小平市（東京都）



その他のリデュース・リユース活動

社員と三重大学生がリユースで連携
不要家電製品や自転車等を学生が再利用
シャープ株式会社三重工場（三重県）

社員と学生との「環境報告書」に関する意見交換会がきっかけとなり、学生側の「卒業生の不用となった家電製品を新入生にリユース」と「放置自転車のリユース」という取組にシャープ社員が参加しました。

社員は家庭で不用となった家電製品（冷蔵庫・電子レンジ・炊飯器・洗濯機・掃除機・電気ストーブ）と自転車を大学に提供。学生が選択して再利用する取組を行っています。



その他の活動団体：SHY FLOWER PROJECT（東京都）、リブライズ合同会社（東京都）、大和郡山市（奈良県）